

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 大正時代

名前

得点

/7

**問1** 日本のパンの歴史に関する5つの段階、すなわち「軍糧としての普及」「文明開化による定着」「機械導入による近代化」「戦時下の増産」「戦後の食糧難解消」を年代順に並べたとき、「機械導入による近代化」が行われた具体的な背景と時期の組み合わせとして正しいものはどれか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

- |                                     |                               |                                  |                                    |
|-------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 関東大震災後の復興期における、大正時代から昭和初期にかけての時期 | 2. 明治維新直後の欧米文化導入に合わせた、文明開化の時期 | 3. 盧溝橋事件以降の戦時体制下における、兵糧確保を目指した時期 | 4. 第二次世界大戦後の連合国軍による占領下における、小麦供給の時期 |
|-------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|

**問2** 1924年に行われた第15回衆議院議員総選挙と、1928年に行われた第16回総選挙の統計を比較すると、広島県のある地域では有権者数が約7,700人から約2万7,000人へと、3.5倍近くに急増しています。このように有権者が大幅に増加した理由として、最も適切な説明を選んでください。（2020年 広島公立入試 類似）

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 1. 直接国税による納税額の制限が廃止され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられたため | 2. 選挙権が得られる年齢が満25歳から満20歳へと引き下げられ、若年層が有権者に加わったため | 3. 女性にも選挙権が認められるようになり、男女ともに投票することが可能になったため | 4. 直接国税の納税要件が15円から3円へと大幅に緩和され、都市部の労働者が有権者に加わったため |
|---|---|--|--|

**問3** 吉野作造が提唱した「民本主義」において、あえて「民主主義（デモクラシー）」という言葉ではなく「民本主義」という用語を用いた最大の理由として、当時の日本の状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 大日本帝国憲法下では主権が天皇にあると定められていたため、国民に主権があるとする「民主主義」という言葉の使用を避ける必要があったから。 | 2. 当時はまだ国民の識字率が低く、「民主主義」というカタカナ語や外来語の概念を一般民衆が理解することが困難であったから。 | 3. 第一次世界大戦後の国際連盟において、日本が提唱した人種差別撤廃案が否決されたため、欧米の政治用語に対する反発が強まっていたから。 | 4. 当時の政府が社会主義思想を厳しく取り締まっており、民衆が主役となる政治思想そのものが治安維持法によって禁止されていたから。 |
|--|---|---|--|

**問4** 第一次世界大戦後、平和を維持するための原則として「十四か条の平和原則」を提唱し、世界初の国際平和機構である国際連盟の設立を提案したアメリカ合衆国の大統領は誰ですか。（2020年 山形県公立入試 類似）

- |                |                  |               |                |
|----------------|------------------|---------------|----------------|
| 1. ウッドロー・ウィルソン | 2. フランクリン・ルーズベルト | 3. ジョージ・ワシントン | 4. セオドア・ルーズベルト |
|----------------|------------------|---------------|----------------|

**問5** 1922年前後の日本国内および国際情勢の出来事の組み合わせとして、歴史的背景が整合しているものはどれか。（2025年 愛知県公立入試 類似）

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 1. 国内では全国水平社が結成され、国外ではソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が成立した。 | 2. 国内では地主から土地を買い上げて小作農に売り渡す農地改革が始まり、国外では国際連盟が発足した。 | 3. 国内では全国水平社が結成され、国外ではプロイセンのビスマルクがドイツ帝国を統一した。 | 4. 国内では最初の政党内閣である原敬内閣が誕生し、国外では冷戦が始まった。 |
|---|--|---|--|

**問6** 1919年に朝鮮で発生した三・一独立運動の背景として、第一次世界大戦後のパリ講和会議で示され、朝鮮の人々に大きな影響を与えた考え方を次の中から選びなさい。（2024年 新潟県公立入試 類似）

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 民族自決 | 2. 尊王攘夷 | 3. 挙国一致 | 4. 適材適所 |
|---------|---------|---------|---------|

**問7** 大正時代の東京を写した記録において、地震による火災で一度は焼け野原となった市街地に、コンクリート造の近代的なビルが立ち並ぶ復興の様子がみられる。このような都市景観の変化をもたらす直接の契機となった出来事はどれか。（2022年 島根公立入試 類似）

- |             |                 |          |                |
|-------------|-----------------|----------|----------------|
| 1. 阪神・淡路大震災 | 2. 第二次世界大戦による空襲 | 3. 関東大震災 | 4. 明治維新による文明開化 |
|-------------|-----------------|----------|----------------|

## 答え合わせ・解説

|    |  |  |
|----|--|--|
| 問1 | <b>答え 1</b><br>関東大震災後の復興期における、大正時代から昭和初期にかけての時期                                    | 日本におけるパン作りは、アヘン戦争後の軍糧としての利用や明治時代の文明開化を経て一般に広まりましたが、工場の機械化による近代化が大きく進んだのは1923年の関東大震災からの復興期です。これは1937年の盧溝橋事件より前の出来事であり、大正から昭和へと移り変わる日本の生活文化の変化を象徴しています。  |
| 問2 | <b>答え 1</b><br>直接国税による納税額の制限が廃止され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられたため                        | 大正デモクラシーの運動が高まる中、1925年に加藤高明内閣によって普通選挙法が制定されました。これにより、それまで高い障壁となっていた「直接国税の納税額による制限」が完全に廃止されました。その結果、1928年に実施された最初の普通選挙では、経済的な理由で選挙権を持たなかった層が新たに有権者となったため、各地で有権者数が劇的に増加することとなりました。なお、女性への参政権が認められたのは第二次世界大戦後の1945年のことです。 |
| 問3 | <b>答え 1</b><br>大日本帝国憲法下では主権が天皇にあると定められていたため、国民に主権があるとする「民主主義」という言葉の使用を避ける必要があったから。 | 当時の大日本帝国憲法（明治憲法）の第一条には「大日本帝国八万世一系ノ天皇之ヲ統治ス」とあり、主権は天皇にあるとされていました。「民主主義」という言葉は本来「主権が国民にある（国民主権）」という意味を含むため、憲法との矛盾を避けつつ、実質的な民主化を進めるために「民本主義（政治の運用において民衆を根本とする）」という表現が選ばれました。   |
| 問4 | <b>答え 1</b><br>ウッドロー・ウィルソン   | 第一次世界大戦の講和会議であるパリ講和会議において、ウィルソンは民族自決や国際連盟の設立を含む「十四か条の平和原則」を示しました。この提案により1920年に国際連盟が発足しましたが、提案国であるアメリカは上院（議会）が反対したため、実際には加盟しませんでした。   |
| 問5 | <b>答え 1</b><br>国内では全国水平社が結成され、国外ではソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が成立した。                          | 全国水平社が結成された1922年は、国外ではロシア革命を経てソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が成立した年でもあります。このように、大正デモクラシー期の社会運動は、当時の国際的な社会主義運動の高まりと密接に関係しています。ドイツのビスマルクは19世紀後半の人物であり、農地改革や冷戦の開始は第二次世界大戦後の出来事であるため、1922年当時の情勢としては不適切です。                                |
| 問6 | <b>答え 1</b><br>民族自決  | アメリカの大統領ウィルソンが平和原則として掲げた、それぞれの民族が他国に支配されず自分たちの進む道を自分たちで決めるべきであるという「民族自決」の原則がきっかけとなりました。この考え方が当時の帝国主義的な支配を受けていたアジア諸国の民衆に希望を与え、独立運動の大きな推進力となりました。  |
| 問7 | <b>答え 3</b><br>関東大震災   | 1923年（大正12年）に発生した関東大震災は、日本の建築技術や都市計画に大きな転換点をもたらしました。震災後の復興過程で、地震や火災に強い都市づくりを目指して建築基準が見直され、それまでの木造中心の街並みから、コンクリートを用いた不燃化・耐震化が進んだことが背景にあります。   |